

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 香取 真理						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 「ことばと文化」をキーワードとし、ことばと文化に関するテーマを中心に調査研究を行う。 また、多様な場面において運用可能な総合的英語力の習得を目指す。							
〔演習内容〕 「ことばと文化」に関わるさまざまなテーマを取り上げ、文献・論文等を読み、考察、分析、ディスカッションを行いながら、卒業研究のテーマを絞り、最終的には卒業論文に研究成果をまとめる。 (例：強い言語、弱い言語、言語格差と経済、メタファー表現、オノマトペ、ことばと社会性、ことわざ日・英比較、通訳・翻訳理論、外国語教育の変遷、など) 同時に、多様な状況で、話題が特定分野にわたっても、適切なコミュニケーションが可能となる英語運営能力を目指す。							
〔科目の到達目標〕 ことばと文化の関係性、関連する歴史・社会や問題等からテーマを選び、各人の計画に沿って、調査・研究を行う。最終的には卒業論文に研究成果をまとめる。同時に、多様な状況で話題が特定分野にわたっても、適切なコミュニケーションが可能となる語運営能力を目指す。							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○	○	○				
〔前提条件〕 なし							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 演習への積極的参加。卒業論文の提出。研究発表会への参加。TOEIC Speaking IP 受験 等から総合判断。							
〔教科書等〕 演習時に示す							
〔実務経歴〕 特になし							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
4月～ 9月	「ことばと文化」について知見を深める。「ことば」とは何か、「ことば」の発達、進化、変化と「文化」との関わりについて参考資料を基に考察を深める。後半には各人研究テーマを決める。同時に、基本的なビジネス英語のフレーズや表現等を再確認しながら、毎回英語スピーキングの練習を行う。具体的には、英語でのインタビュー(面接)練習、ショートスピーチ、質疑応答等の練習を行う。						
10月～ 1月	自分のテーマについて、担当教員と相談しながら調査・研究を進める。並行して、英文エッセイの書き方について学ぶ。また、英語でのプレゼンテーション練習を行う。1月には卒業論文を完成させる。TOEIC Speaking IPを受験する。						
2月	研究発表会で発表する。 卒業論文の製本。						